

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2013年8月1日発行

7月の参议院選挙が終わりました。やはり気になるのは女性議員の数。昨年の衆議院選挙では、女性議員が54名から38名に激減しました。今回の選挙では、女性当選者数は22名と前回の参议院選挙時より5名増加したものの、参议院全体の女性議員は44名から40名に減少するという残念な結果になりました。
“はもりあ四日市”では、自分たちの足元から女性の参画を広げていくことに取り組んでいます。今月号は女性の活躍を地域ですすめる神前地区の取り組みを紹介します。是非、皆さんも共に考え、行動していきましょう。

地域での
取り組み
その1

神前地区のまちづくり活動で女性の活躍をすすめるための取り組み紹介

昨年実施した自治会アンケートから「自治会長や役員に女性が少ない」という結果を受けて、神前地区連合自治会からの声かけで、自治会とNPOと行政の協働により、7月13日(土)に「神前地区のまちづくり活動で女性の活躍をすすめるために」と題し、地域の各種団体役員・自治会長など地域のリーダーたち60人が集まり講演会と話し合いを行いました。初めに、三重大学学長アドバイザーの鈴山雅子さんより、「202030」の目標①、「男女共同参画」の必要性②、について、様々なデータを用いて分かり易くお話していただきました。後半は、「自治会長に女性が少ないのは何故か。どうすれば女性の自治会長が増えるか。」について、下の3つの課題を提起し、グループで話し合いしました。

平成24年8月自治会アンケート結果より



提起課題

自治会の会員名簿が世帯主名(多くが男性)になっているため、世帯主である男性が出ることになる? 神社や農地・農業用水に関する事など、これまで男性が仕切ってきたことが自治会長の仕事になっているので女性にはできない?
女性自身が引き受けたがらない

- ・組織自体に女性が入りにくい雰囲気があるから?
- ・身近に女性の自治会長(ロールモデル)がないから?
- ・家事、育児、介護との両立が難しいから?
- ・家族が嫌がるから?

話し合いでは、男性からも女性からも積極的な意見が出されました。「自治会長がどんな仕事をしているか知ることができた」という声や、「女性の自治会長(役員)を増やすには、今回のような話し合いの場を何度も持ち、男性、女性ともに意識を変えていく必要がある」という声があがったことは大きな成果であり、今後も神前地区の継続した取り組みを応援していきたいと思ひます。

にいまにいまさんまる
①「202030」って?
社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度としようという国の目標です。



講演会の様子



鈴山雅子さん



グループでの話し合い

② 男女共同参画社会ってなぜ必要?
家庭や職場、地域社会等さまざまな場面において、男女間の不平等を感じている人がまだまだたくさんいます。「男だから、女だから」という理由で個人の生き方や人生の選択が制限され、個性や能力を發揮する機会が奪われてしまうことは問題です。「男性は仕事、女性は家庭」といった固定的な性別役割分担意識にとらわれずに家庭で、職場で、地域でそれぞれの個性と能力を發揮できる社会づくりが必要です。

次回は、港地区から「案ずるより生むが安し、男女共同参画、地域社会に女性の力を」を掲載します。

もっと知りたい!女のカラダ

~上手に女(ワタシ)のカラダと付き合うために~



金
10/11

時間：13時～17時 対象：女性(市民優先)

場所：本町プラザ1Fホール 参加費：無料

申込み：9月3日(火)9時受付開始

定員100名、先着順、TEL、FAX

Eメールにてお申し込みください

1・2部のみの受講も可

託児：有(6カ月から小学3年生程度)

無料ですが、申込要(10/1締切り)

主催：四日市市男女共同参画センター
ウィメンズセンター大阪

協賛：大塚製薬株式会社

1. 女性のカラダ基礎講座 I

「知っておきたい女性特有の病気」

時間：13:00～14:00

講師：水谷 栄彦さん
みずたにしげひこ

(ダイヤビルレディースクリニック婦人科医)

2. 女性のカラダ基礎講座

「心とからだの声を聴こう！」

～わたしのからだはわたしのもの～

時間：14:10～15:10

講師：野村宏子さん(ウィメンズセンター大阪)
のむらひろこ

3. ヨガでリフレッシュ!

体にストレス溜めていませんか?

楽～に 楽～く 気楽～に

ストレッチヨガを楽しみましょう!!

時間：15:30～17:00

講師：伊藤爾己枝さん(楽ヨガ代表)
いとうゆきえ

チエ参加者全員に腸内細菌ト

持ち物

ヨガマット又はバスタオル2枚

水分補給のための飲み物

着替え場所(2階第2会議室)を用意してありますが、最初の講座より

運動できる服装でOK

さんかくカレッジ2013

報告

男性のための料理教室

「はじめての台所」

4回講座



【ちょこっとさんかく教室】

はもりあ四日市の人気講座で男性の家事参加を目的とした男性のための料理教室を6月・7月に開催しました。「ちょこっとさんかく教室」では男女共同参画アドバイザー九鬼多賀子さんに手づくりカルタを使って、家族の中での役割分担のことや社会の中で女性リーダーがなぜ少ないのかということなど、「男女共同参画」についてわかりやすくお話していただきました。

12月7日は、おもてなし料理を作り同窓会を行います。受講生の皆さんの、家庭での奮闘ぶりを聞けるかな!?楽しみですね^^

き

家事も育児も
役割分担

6/15 和食【終了】...お鍋で炊くごはん(炊飯器を使わなくても美味しい!おこげつき)

6/29 中華【終了】...八宝菜(野菜の切り方を覚えました)

7/13 洋食【終了】...煮込みハンバーグ(見栄えも豪華な洋食)も作りました

12/7開催予定...おもてなし料理で同窓会

ちょこっとさんかく教室について

- ・男性参加の必要があると思う
- ・今まで機会があまりなく、話の内容が新鮮であった など

男性のための料理教室について

- ・料理を作る身の気持ちが理解できた気がする
- ・料理のレパートリーを増やす事が出来る講座の内容であった など

参加者の声



【講師の吉武奈穂子さん】



【料理教室の様子】

相談室
から

女性のための自己尊重講座

自分を知り 自分を大切に生きる

ありのままの自分を受け入れ、
自分を認めるための講座です。

9月3日(火) 9時受付開始

講師 **石田ユミ**さん
(フェミニストカウンセラー・臨床心理士)

個人カウンセリング、グループカウンセリングに携わり、大学で非常勤講師、各地の女性センター等で、女性のための自己発見・啓発のための講座やDV研修、相談員養成講座・研修の講師、相談員スーパーバイザーを務める。

- 第1回 9月28日(土)
「自分を語ることばを持っていますか」
- 第2回 10月5日(土)
「自分を感じてみよう」
- 第3回 10月19日(土)
「自分を大切に生きる生き方とは」

時間：13:30～15:30

場所：本町プラザ5階 第3会議室

対象：全3回参加できる市内在住・在勤・在学の女性
はじめて受講される方を優先します。

定員：30名 定員になり次第〆切

費用：無料

託児：9月18日(水)までにお申し込みください。(無料)

男性の相談員による

**男性のための
電話相談はじめました**

毎月第2土曜日 12:00～15:00

おひとり30分程度、無料、匿名でOK

対象：市内在住・在勤・在学の男性

専用電話

059 354 1070

今月のキーワード

男女共同参画社会

「男女共同参画社会」とは地域や家庭、職場、学校など私たちの全ての生活の場で、女性も男性も性別で差別されることなく、自らの意思で選択し、自分自身の能力や個性を發揮できること。そして、男女が対等なパートナーとしてお互いを尊重し合い、喜びと責任を分かち合うことが出来る社会です。

単に「男女平等」という人権の側面だけでなく、男女が対等なパートナーとして社会を動かしていくための社会システムの変革も意味しているものです。

表紙に掲載されている神前地区での取り組みは、「まちづくり活動で女性の活躍をすすめよう」というものです。特に自治会は女性会長が少ない組織であることを受け、なぜ女性自治会長が少ないのか、それぞれの“まち”が持つ課題を出し合い、それをクリアするための方法を考え合いました。地域での男女共同参画を進めていくために、今後こうした取り組みが広がっていくといいですね。



男女
共同

さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、「男女共同参画」の視点★を通してね。

今号で、はや3回目となりますが、私(40歳男性)の子育て奮闘記?を綴っていきたいと思います。

この7月で、R君とK君は1歳になりました。長いようであっという間の1年だったと感じています。思い返せばいろいろ大変でしたが(今も大変ですけどねf^_^;) 生まれて最初の1カ月が一番大変でした。出産後1週間で妻と子どもたちは無事退院し、妻の実家で3人お世話になり始めたのですが、その4日後に妻が病気で12日間入院してしまいました。そのため入院期間中は、私も妻の実家に寝泊りし、日中は義母と伯母たちに子どもたちを見てもらって仕事に行き、仕事が終われば入院先の妻を見舞い、その後妻の実家に帰って夜は子どもたちの世話をする(沐浴は日中にしてもらっていたので、3時間おきのミルクとオムツ交換ぐらいでしたが)、という毎日が続きました。

当時は無我夢中で、周囲の人々の支えもあって何とか乗り切りましたが、今でこそ、そういう時に育児休暇制度を利用すべきだったと思っています。しかし、実際は制度の名前は知っていてもどのように利用できるのか、実は今でもよくわかっていません。この制度を利用する、しないに関わらず、情報は集めておくべきだったと反省です。

【担当：Y】

父親の

子育てマイスター

～平成25年度養成講座～

対象：子育てに関心のある市内在住の男性（18歳以上）

定員：20名程度（応募多数の場合は抽選） 料金：無料

開催日：9月28日（土） 10月26日（土）

11月16日（土） 12月7日（土）

1月11日（土） 2月22日（土）

時間：9：30～11：30（1回目のみ13：00～16：00）

場所：勤労者・市民交流センターなど

託児：無料 10カ月～就学前のお子さんを対象とします。お問い合わせください。

申込締切：平成25年9月13日（金）まで

申込方法：住所・名前・TEL/FAX番号・Eメールアドレス・託児の有無（託児希望の場合は、お子様の名前と年齢）を記入いただき、電話、FAX、Eメールまたは、ハガキでお申し込みください。講座に関することは、四日市市役所ホームページ（子育てエンジョイ 父親の子育て）・はもりあホームページに掲載しています。

問合せ先：四日市市こども未来部こども未来課 〒510-0085 四日市市諏訪町2番2号

申込み先：【電話】 059-354-8069【FAX】 059-354-8061

【Eメール】 kodomomirai@city.yokkaichi.mie.jp

大募集！！笑顔のパパ♪
育児を楽しむパパ♪

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は **NPO法人**

四日市男女共同参画研究所

代表 坂倉 加代子
連絡先 059-326-8514
さんです。

2006年3月より女性の自立支援と男女共同参画の視点をもったまちづくりをテーマに活動を続け8年目。学び、調べ、できることから実践するのがモットーです。

設立時から「はもりあ四日市」の夜間開館委託事業を継続受託中。また、DVなどから逃れてきた女性への「せっぱつまった入用資金貸付バンク」も同時期に設立・運営しています。

2010年から継続的に取り組んできたのが「女性の貧困」。今年度は、先に実施した調査結果を中心にこれまでの実践をまとめ、冊子「シングルマザーたちの叫び」を発行します。

また「女性の貧困」の原因となっている労働の問題について、著者（四日市市出身の経済学者、熊沢誠氏）と共に読む読書会を10月から3回連続講座で行います。

昨年好評だった「5本の映画会」の第2弾を10月26日（土）四日市市文化会館で開催します。「平穏死の10の条件」の著者、長尾和宏医師の講演と、映画会「いのちがいちばん輝く日」です。

どうぞお出かけください！

あとがき

7月から、はもりあ四日市では月に1回の「男性のための電話相談」が始まりました。初回の相談は5件。

3時間電話はほぼつながりっぱなしでした。これからも毎月第2土曜日に行なっています。ぜひ、ご利用ください。



四日市市男女共同参画センター（はもりあ四日市）

〒510-0093 四日市市本町9-8本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9：00～PM9：00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>